

1 学年通信

Practice Makes Perfect

担当：奥村



6月10日「時の記念日」

みなさんは「時の記念日」という日を御存知でしょうか。「時の記念日」は1920年(大正9年)に制定されました。当時、欧米の先進国から「日本人は時間の感覚に乏しい。」とみられていたことから、時間に関心を持ち、規律正しく効率的な生活を習慣化する啓発のために「時の記念日」が制定されました。今でこそ「日本文化は時間に正確で、時間ピッタリに駅のホームに到着する電車は素晴らしい」と言われている日本の文化ですが当時は欧米諸国から大きく遅れをとっていたというのは驚きですね。



気付くことで大きく成長できる「時間の大切さ。」

政府は「時の記念日」の制定当時に、「時間をきちんと守り、生活の改善・合理化を図ろう」と国民に呼びかけました。その後、先人の努力もあり、日本の産業は世界から大きく認められるようになったのです。では、「時間をきちんと守る」「時間を大切に使う」という考え方について、あなたは普段から意識しているでしょうか。御存知のとおり、一日は24時間です。24時間の見方を変えると以下ようになります。

24時間 = 1440分 = 86400秒

一日の中で、人間が朝起きてから夜就寝するまでの時間は平均で17時間(1020分)となります。高校生は平日学校に通っている為、始業から終業で7時間(420分)通学時間の往復で90分程度使用しています。その点から考えるとみなさんは残りの8.5時間(510分)の時間を自分自身の価値観で消費している事になります。



この限られた時間をどのように利用していますか。まずは自分自身の時間の使いかたを見つめてみましょう。普段はどのように時間を使って生活しているでしょうか。「勉強」「部活動」「読書」「スマートフォン」... 自分の時間を使って何をしようとも皆さんの一日は過ぎていきます。大切な「時間」。高校生活がスタートして既に1296時間が経過しました。どれだけ納得のいく時間の使い方をしたのか、思い返してみてください。これからの高校生活、あつという間に時間は過ぎて行きます。卒業を迎える日までしっかりと自身のプランを経て、「今の時間」を精一杯生きていきたいと思えます。



『明日死ぬと思って生きなさい。永遠に生きるとして学ばなさい。』
マハトマ・ガンディー

☆6月(水無月)の行事予定・月訓『誠実』

1	水		16	木	歯科検診
2	木		17	金	現況報告会(授業45分×4限) <small>日本漢字能力検定 計算技術検定</small>
3	金		18	土	受験対策講座④
4	土		19	日	全商ビジネス計算実務検定試験
5	日	第1回実用英語技能検定	20	月	全校朝礼
6	月		21	火	常任委員会
7	火	体育大会学年予行(5,6限目)	22	水	(歯科検診予備日)
8	水	体育大会準備(午前) 全体予行(午後)	23	木	
9	木	体育大会 <small>・弁当各自持参</small>	24	金	情報技術検定
10	金	(体育大会予備日) <small>・弁当各自持参</small>	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	◎1学期期末試験
13	月	チャレンジO週 聴力検査	28	火	◎1学期期末試験
14	火	執行部合同会	29	水	◎1学期期末試験
15	水		30	木	◎1学期期末試験

☆コラム『沖縄、広島、ウクライナ』

2学年の先生方が、修学旅行の準備を始められている。訪問先は「沖縄本島」コースと「広島・関西」コース。参加する生徒諸君にとって思い出に残る有意義な旅となることを切に願う。

それぞれのコースで先生方が工夫を凝らし、「目玉」となるものを計画されているが、日本で生活をする者として各所の歴史に目を向けないわけにはいけない。

「沖縄」はわが国で唯一地上戦が行われた場所であり、「広島」は世界で初めて原子爆弾が投下された地である。多くの人命が失われ、町は破壊し尽くされた。

「平和」は尊いもので、「戦争」は恐ろしい。それはわかっている。尊き「平和」を守るため我々はいかなる行動をとるべきだろうか。

敗戦に終わった先の大戦。戦勝国側は極東軍事裁判なるものを開き、当時のリーダーらを戦犯と呼び戦争責任を問うた。正しい判断をすれば戦争を避けることができたのか。正しい判断とはなんだろう。

「平和」の維持は、人体で言うところの骨密度や筋肉量に似ている。恒常的に適切な栄養素を摂取し、トレーニングを継続しなければ、骨はもろくなり、筋肉は衰える。「いま」に満足し、「自己の成長」を求めて努力しなければ、「平和」はある日突然喪失する。

日本は「いま」、「平和」だろうか。尖閣列島近海には毎日のように中国船が出没する。北方領土は返ってこない。津軽海峡をロシア船が横断する。北朝鮮はミサイルを発射し拉致被害者は帰ってこない。竹島はサンフランシスコ条約公布前に韓国に実行支配されたまま。国内には4万人超の在日米軍が駐留している。

ロシアの脅威に対抗すべく2017年に徴兵制(男女とも!)を復活させたスウェーデンは先日フィンランドとともにNATOに加盟申請した。両国の女性リーダーの決断を皆さんはどう考えるのか。「平和」は願っているだけでは達成できない。ウクライナの現状を見ればわかる。わが国がそうならないとどうして断言できるだろうか。そもそも「いま」日本は「平和」なのか。「平和のようなもの」なのか。

修学旅行では大いに楽しんで、友人らと一生の思い出を刻んでほしいと思う。一方で「学び」、「気づき」の機会にもしてほしい。来年は我々も行く。先輩方の話からもきっと何かを学べるはずだ。

~~~~ Team Blue-1 Manager ~~~